

「准認証アーキビスト 養成プログラム」 ガイダンス

2026(令和8)年4月7日(火)

1

昨年度(2025年度)から、 「神戸大学准認証アーキ ビスト養成プログラム」

が始まりました。

神戸大学の
大学院生は
誰でも

指定された7科目の授業
を履修し、単位を修得して、
国立公文書館に申請すれば、

「准認証アーキ
ビスト」という
公的資格を
取得できる！

2

ガイダンスの概要



1. アーキビストとは？

- アーキビストとは？
- 【映像】「国立公文書館ってどんなところ？」(3分45秒)

2. アーキビストの公的資格

- 公的資格「准認証アーキビスト」とは？
- 神戸大学では、最短で資格が取得できる！

3. 「准認証アーキビスト」資格を取得するには

- 必修7科目について、履修上の注意点、履修登録の方法
- 国立公文書館への資格認定申請

3

1. アーキビスト とは？

4

アーキビストとは？

アーキビスト(Archivist)とは、
公文書館などのアーカイブズ
(Archives)で働く専門職員
のことです。

アーカイブズって、
何だろう？



5

全国の国公立アーカイブズ組織

国等(17施設)

- 国立公文書館
- 宮内公文書館(宮内庁)
- 外交史料館(外務省)
- 国立大学法人のアーカイブズ(12施設)
- 日本銀行金融研究所アーカイブ
- 戦史研究センター史料室(防衛省)

都道府県(45施設)

- 兵庫県公館(歴史資料館部門)など

政令指定都市(11施設)

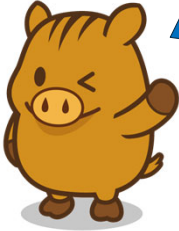
- 神戸市歴史公文書館(旧神戸市文書館)など

市区町村(39施設)

- 尼崎市立歴史博物館(あまがさきアーカイブズ)など

以上、計112施設(2025年6月時点)
その他(48自治体)

6



アーキビストは、
国、自治体、地域、民間企業などの**重要な文書・記録を守り**、それを**将来にわたって社会の発展や組織運営に活かす**という大切な役割を担う人材です。

アーキビストには、**多様な知識・技能等**が求められます。

8

2. アーキビストの公的資格

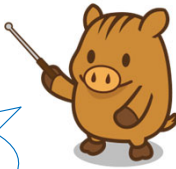
9

アーキビストの公的資格

- (1) 「認証アーキビスト」
- (2) 「准認証アーキビスト」

どちらも国立公文書館長が認証(後者は認定)する公的資格です。

公的資格以外にも、日本アーカイブズ学会の「登録アーキビスト」などがあります。



10

アーキビストの3要件

① 知識・技能等	② 実務経験	③ 調査研究能力
国立公文書館が認めた 大学院修士課程の科目12単位	原則3年以上	大学院修士課程修了レベル (論文等の実績)

11

アーキビストの公的資格


- (1) 「認証アーキビスト」
 - ①②③の3要件をすべてを満たす
 - 実務経験や調査研究実績(論文等)が必要
 - 資格の有効期間は5年
- (2) 「准認証アーキビスト」
 - ①の要件だけで取得できる
 - 資格の有効期限なし(永久資格)
 - 後から②③の要件⇒「認証アーキビスト」

12

認証アーキビスト		
准認証アーキビスト	② 実務経験 (アーカイブズに係る実務経験 (原則3年以上))	③ 調査研究能力 (修士課程修了レベル) (要件となる論文等の点数は 学歴や実務経験等で異なる)
① 知識・技能等 (大学院修士課程の科目修得 又は関係機関の研修修了)	「① 知識・技能等」を修得できる大学院・機関(2025(令和7)年度) 【国立】 東北大、筑波大、大阪大、 神戸大 、島根大 【私立】 学習院大、昭和女子大、中央大、駒澤大、別府大 【機関】 国立公文書館、国文学研究資料館	

「准認証アーキビスト」資格を取得できる国立大学は、**神戸大**を含む**5校だけ!**

※ 現在、①の要件を満たさない場合でも「認証アーキビスト」資格を取得できる制度がありますが、その場合は、②③の要件が高くなります。



13

大阪大学

必修6科目12単位、選択2科目4単位以上
(計8科目16単位以上)

神戸大学

必修7科目12単位のみ

最短で
資格取得!



国立公文書館

アーカイブズ研修 I (全5日間)
アーカイブズ研修Ⅲ(全5日間×3回、修了研究論文)
対象:アーカイブズ職員、国家公務員、地方公務員、法人職員

国文学研究資料館

アーカイブズ・カレッジ(長期コース):(前期3週間、後期3週間、修了研究論文)

14

3.

「准認証アーキビスト」 資格を取得するには

(神戸大学の場合)

●「神戸大学准認証アーキビスト養成プログラム」ホームページもご覧ください。

https://lib.kobe-u.ac.jp/archives/archivist_program/



15

「准認証アーキビスト」資格取得について

神戸大学では、国立公文書館による科目認定を受けて、**大学院生を対象に「准認証アーキビスト」資格取得に関わる授業科目(全7科目)を開講**しています。准認証アーキビスト資格の取得を希望する学生は、授業科目を**すべて履修し単位を修得**してください。

その上で、**学生自身で、資格認定申請を国立公文書館に対して行う**必要があります。資格認定申請方法は、国立公文書館ホームページ(<https://www.archives.go.jp/ninsho/aboutAACJ/index.html>)に掲載。

16

【1】受講対象

神戸大学の**大学院生**であること

- 研究科・専攻は問いません。
- 博士課程前期課程(修士)・後期課程(博士)のどちらの院生もO.K.!
- 【対象外】:科目等履修生、聴講生、研究生。学部生も対象外。

17

【2】必修7科目

1~5は、人文学研究科、
6・7は、法学研究科で履修する。
※人文:人文学研究科、法:法学研究科

授業科目名 (大学院科目)	開設 部局	単位 数	科目分類*	R8 開講日	R8 教員	R8 教室
1 アーカイブズ学特殊研究	人文	2	博士課程 前期課程	【前期】 月曜・2限	福田	B132
2 アーカイブズ活用研究	人文	2	博士課程 前期課程	【前期】 金曜・1限	吉川	B233
3 アーカイブズ活用演習 (※【前期】又は【後期】の どちらか1つを履修)	人文	2	博士課程 前期課程	【前期】集中 (8月or9月) 【後期】集中 (2月予定)	吉川 古市	学外での合宿 (学内での事前 指導あり)
4 アーカイブズ古文書特殊 研究	人文	2	博士課程 前期課程	【前期】 金曜・5限	河野	B232
5 アーカイブズ情報管理特 殊研究	人文	2	博士課程 前期課程	【後期】 月曜・3限	嶋野	(未定)
6 法学基礎論特殊講義	法	1	博士課程 前期課程	【後期】 水曜・1限	中山 堀澤	(未定)
7 アーキビストと法特殊講 義	法	1**	博士課程 前期課程	【前期】 月曜・1限	阿部	I 232 (六甲本館)

* すべて博士課程前期課程の授業科目ですが、後期課程の院生も履修できます。
** 「アーキビストと法特殊講義」は1単位ですが、授業は約15回(学部2単位分)を予定。

18

履修上の注意点(1)

どの科目からでも履修できます。

- **履修の順番は決まっていません**ので、ご自身の履修可能な科目から全7科目の単位をそろえてください。

入門的な授業科目

- (1)アーカイブズ学特殊研究(人文)
 - アーカイブズ学の基礎的な知識と技能を学ぶ
- (6)法学基礎論特殊講義(法)
 - 法学の基礎を学んだ上で、行政情報法の基礎を修得

19

履修上の注意点(2)



履修期限はありません。

例えば、前期課程の在学中に3科目だけを履修し、残りの4科目は後期課程で履修する、ということも可能です。(ただし、履修可能期間は、大学院在学中だけです。社会人は履修不可。)

全7科目12単位をすべて修得すれば、資格認定を申請できます。

20

履修上の注意点(3)

通称
「古文書合宿」

集中講義は学外での合宿(宿泊)です。

(3)アーカイブズ活用演習(人文)

- 地域に残る古文書・絵図等の解読と整理を実践的に学ぶ
- 【前期】集中講義(8月下旬又は9月上旬)
- 【後期】集中講義(2月予定) (※【前期】又は【後期】を履修)
- まずは学内で事前指導(1日程度)、その後、学外での合宿形式で集中的に実習する(【前期】2泊3日予定、【後期】1泊2日予定。合宿経費・交通費等はすべて受講生負担)。
- 日程等の詳細は、後日、教務係掲示板やBEEF+等で発表。(※次ページに続く)

21

(3)アーカイブズ活用演習(人文)(続き)

- **くずし字の未経験者や初学者も毎年参加しています。**グループワーク形式で、わからない文字等は皆で相談したり、先輩などが手厚くサポートしてくれます。
- ですが、くずし字の未経験者で、古文書の基礎をある程度学んでから参加したい方は、(4)アーカイブズ古文書特殊研究(人文)(今年度は前期・金曜5限)を先に履修するという選択もあり得ます。

【注意!】

「アーカイブズ活用演習」は、基本的に合宿(宿泊)による実習ですので、慎重に履修登録を行い、履修登録後の辞退は極力やめてください。

もし履修を辞退する場合は、宿のキャンセル対応やグループの再編成などの支障が生じますので、人文学研究科事務室(教務学生係)だけでなく担当教員(※連絡先のメールアドレスは、うりぼーネットの学内限定版シラバスに掲載)へも速やかに連絡してください。

22

その他の授業科目

(2)アーカイブズ活用研究(人文)

- 地域歴史遺産の保全・活用について学ぶ
- 毎回講師が替わるオムニバス形式の講義です

(4)アーカイブズ古文書特殊研究(人文)

- 古文書の解読、取扱方法、目録編成などを学ぶ

(5)アーカイブズ情報管理特殊研究(人文)

- デジタルアーカイブを安定的に長期間維持運用するために必要な情報技術の基礎を学ぶ

(7)アーキビストと法特殊講義(法)

- 著作権法などの知的財産法の基本的事項を学ぶ

23

履修上の注意点(4)



別名がある科目に注意!

- 別名で履修登録しないこと(別名では「准認証アーキビスト」資格取得不可)

【別名がある科目】

- (2)アーカイブズ活用研究 (別名:地域歴史遺産活用研究、地域歴史遺産保全活用基礎論A、博物館資料論)
- (3)アーカイブズ活用演習 (別名:地域歴史遺産活用演習、地域歴史遺産保全活用演習A、B)
- (7)アーキビストと法特殊講義 (別名:知的財産法)

24

履修上の注意点(5)

同じ1単位でも授業回数異なる

(6)法学基礎論特殊講義(法)

- 単位数 : 1単位
- 授業回数: 8回

(7)アーキビストと法特殊講義(法)

- 単位数 : 1単位
- 授業回数: 15回(学部2単位分)
 - 法学部の学部科目「知的財産法」を大学院生が受講するため、学部生は2単位だが、大学院生は1単位。

25

履修上の注意点(6)

人文学研究科以外の学生は、所属研究科の教務学生係にご確認ください。

人文学研究科博士課程前期課程の学生(ただし、**2025(令和7)年度以降入学の学生に限る**)は、**下記の2科目の修得単位を修了要件(研究科共通科目)単位数に算入できます。**

- (2)アーカイブズ活用研究(人文)(2単位)
- (3)アーカイブズ活用演習(人文)(2単位)

※全7科目のうち、(2)アーカイブズ活用研究及び(3)アーカイブズ活用演習**以外**の修得単位は、人文学研究科博士課程前期課程の**修了要件の修得単位数に算入することはできません。**

26

履修登録の方法(1)

前期課程(M)の学生

前期課程と後期課程は異なるよ!



- 履修登録期間中に、「**うりぼーネット**」から各自で履修登録できます。
- 前期課程の学生であれば、誰でも(どの研究科の学生でも)、プログラム指定の全7科目を「うりぼーネット」から履修登録することが可能です。
- 履修登録期間にご注意ください。

27

履修登録の方法(2)

後期課程(D)の学生(注意!)



- 履修登録期間中に、**下記の事務室へ直接出向いて履修登録を申し出る。**
- 人文学研究科開講科目を履修する場合:
⇒ **人文学研究科事務室の教務学生係**
- 法学研究科開講科目を履修する場合:
⇒ **法学研究科事務室の教務グループ**

▶ なぜ「うりぼーネット」で履修登録できないの? (⇒前期課程(M)の授業科目だから)

28

【3】資格認定を申請する

全7科目(12単位)をすべて修得



学生自身で、国立公文書館へ「准認証アーキビスト」資格認定申請

(申請受付期間: **毎年4~5月半ば頃(要確認!)**)

申請を忘れな
いでね!



29

申請方法や申請書様式は、下記に記載されています。

● 国立公文書館ホームページ「**准認証アーキビストについて**」
<https://www.archives.go.jp/ninsho/aboutAACJ/index.html#aboutAACJ>

申請書類に不備(証明書類の未添付、必要事項の未記入など)がある場合は、不合格になりますので、**必ず書類の不備不足がないよう申請前にご確認ください。**

30

- 審査結果は、国立公文書館から申請者に電子メールで通知されます(6月下旬頃)。
- 審査に合格した方は、国立公文書館ホームページに、**氏名、認定番号、認定年月が公表**されます。



- 履歴書の資格欄に、「**准認証アーキビスト**」を記載できます。



31